

## 今年4月に採用された2人にインタビューしてきました！

今回は、採用1年目の2人来てもらい、今どんな仕事をしているか、全国市長会を志望した理由などを聞きました。採用試験への応募を検討されている皆さんの参考になれば幸いです。



経済部  
具志堅 興祐

趣味(というか生きがい)はバドミントン。  
小学生からずっと続けていて、社会人になってからも夜や週末にやっています。



行政部  
隅野 大基

趣味は旅行。  
先日も東京から新潟を回り、福島県の会津に一人旅に行ってきました。  
東京生まれの大阪育ち。



## Q. 全国市長会を志望した理由は？

リクナビで全国市長会のことを知り、「国と地方の連絡調整」というところに興味を持ったのがきっかけでした。

全国市長会のホームページなどを見ると、文字通り全国規模の団体ですし、各自治体の課題解決のための仕事をしているので志望しました。

私の場合、公共性の高い仕事をしたいという思いが前提にあり、そのうえで、特定の分野を深めていくよりも、幅広く色々な分野に触れてみたいという思いがありました。

その点、全国市長会は、災害対応、地方分権、地方税財政、社会保障、教育、国土交通、農林水産業などカバーしている範囲が広く、様々な分野に携われること、全国の自治体の方々と仕事ができることが魅力でした。



## Q. 現在はどんな業務を担当していますか？

### また、業務を通じて感じたことはありますか？

現在は道州制への議論の対応や市町村合併、消防関係を担当しています。まだ採用されてから日が浅いですが、全国市長会が国の政策決定にどう関わっているのかが少しずつ分かってきました。政党の会議などを傍聴する機会や国からの情報提供も多く、「国と地方の連絡調整」の意味や重要性和責任の重さを感じています。

私が所属する行政部には、広島県三原市、京都府舞鶴市、鹿児島県霧島市から出向されてきた方々がいます。出向されている皆さんから地域のお話やそれぞれの市が抱える課題をお伺いすることができるので、貴重な勉強になります。

採用試験に応募される皆さんも採用後のことは色々と不安だと思いますが、全国市長会は上司、先輩がきちんとサポートして下さるので、その点は安心してください。





## Q. 全国市長会を志望した理由は？

私は大学の専攻がコミュニティや福祉だったので、地域のコミュニティに関心がありました。それもあって、当初は市役所職員を志望していました。

特に、市民の方と触れ合うことができる窓口業務の仕事を志望していました。

全国市長会のことは公務員志望の学生が見るサイトに出ていたので知りました。

一人の住民の目線で見ると、国はすごく遠い存在ですが、そこに提言書などで働きかけ、市の課題解決に向けて仕事ができるということに興味を持ち、応募しました。

市役所の試験も受けていたので、進路選択に随分悩みましたが、「国と地方の連絡調整」という全国市長会でしかできない仕事の方により大きな魅力を感じたので、全国市長会に決めました。

## Q. 現在はどんな業務を担当していますか？ また、業務を通じて感じたことはありますか？

私が所属する経済部は、農林水産、国土交通、経済産業関係の政策を所管しています。

そのなかで、運輸、住宅関係の提言書の作成と「港湾都市協議会」、「新たなまちづくりを考える研究会」などを担当しています。

採用前は1年目の職員にそこまで多くの業務は無いただろうと考えていたのですが、責任の重い業務を任されていますし、(事務局トップの)事務総長から、提言書の文言の修正を直接指示されたりと緊張する場面もありました。

「国と地方の連絡調整」がどういうことか、業務を通じて少しずつ分かってきた気がしています。全国814市区の意見を取りまとめて文章化するのは想像以上に大変な仕事でした。

最初によく叱られたのは、電話の対応についてでした。敬語の使い方などで(笑)。今でもたまに叱られます。

